

1 経営的特徴と導入方法

キク科マンジュギク属の一年草で、原産地はメキシコである。茎は直立し、葉は羽状の深い切れ込みがある。開花期間が長く、5～6月頃から霜が降りるまで咲き続けるので、花壇用苗ものとして人気が高い。

草丈が高く、花も大きいアフリカンタイプとわい性で花径がやや小ぶりのフレンチタイプがある。花色は、黄、オレンジを主体に淡黄、白、橙のほか褐色の品種も育成されている。

表1 10a 当たり旬別所要労働時間 (単位: 時間)

月	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
時間					30.0	6.0	148	64.0	30.0	30.0	34.0	34.0	134	140	140	96.0	96.0	80.0

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合計
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
																		1,062

(注) 1. 石川県第5次農業振興ビジョン関連資料集(1996.11)

2. 収穫鉢数74,000鉢/10a 花苗主体型

2 生理生態的特性と適応性

キク科に属し、園芸品種は不耐凍性一年生で、5℃で生育は止まり、0℃以下で枯死する。生育適温は15～20℃である。30℃以上になると生育はにぶり、開花も衰える。相対的短日植物に属するが、花芽形成はあまり日長には影響されず、花芽の発達、開花は日長に影響される。花芽分化は10～20℃では播種後、2週間ぐらいで日長に関係なく行われる。しかし、花芽の発達は短日で促進され、長日で抑制される。

日あたりを好み、日陰では茎ばかり伸びて花つきが悪くなる。また、長日・高温下では、開花が妨げられるので真夏は花つきが悪くなるが、秋には再びよく花をつけるようになる。

3 作型と品種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1月播種	○	—	◇	—	—	—	—	—	—
2月播種		○	—	◇	—	—	—	—	—
3月播種			○	◇	—	—	—	—	—

(1) 作型

1月から3月まで順に播種すると4月中旬頃から5月末まで継続して出荷できる。

(2) 園芸品種の分類

通常、園芸品種は高性のアフリカン・マリーゴールドと草丈の低いフレンチ・マリーゴールドとの2系

統に分けられる。

ア アフリカン・マリーゴールド

アフリカン種とも呼ばれ、より高性の切り花用品種と鉢物・花壇用のわい性品種とに分けられる。花色は淡黄、黄、オレンジがあり、花径は8～10cmと大輪である。また、アメリカで育種が盛んに進められたためアメリカン・マリーゴールドと呼ばれる場合もある。播種後、約60日で開花する。

主な品種として、「ディスカバリー」、「レディ」、「パーフェクション」などがある。

イ フレンチ・マリーゴールド

フレンチ種とも呼ばれる。草丈が20～30cmのわい性で、基部の分枝が多く、花径は2～5cmの小輪多花性である。一重咲きと八重咲きがあり、花色はアフリカン・マリーゴールドにはない赤褐色からオレンジ、黄色と幅がある。最近では2色咲きやバイカラーの品種も育成されている。開花の的的な日長や温後条件であれば、80～90日くらいで開花する。

主な品種には、「ボナンザ」、「サファリ」、「ボーイ」、「リトル」などがある。

4 栽培

(1) 育苗

種子は1d1当たり3,000～4,000粒位である。128～200穴のセル成形苗用トレイに1穴あたり1粒を播種するか、育苗箱に0.5～1cm間隔で条播きし、薄く覆土する。発芽適温の15～20℃を保つと3～4日で発芽する。発芽するまで新聞紙をかけて乾燥を防ぎ、本葉2～3枚になったら、ポリ鉢(3～3.5号)に鉢上げする。

鉢上げ後は十分に光に当てがっちり育てる。肥料は多く与える必要はなく、特に窒素が多いと茎葉ばかりが茂り、花つきが悪くなる。

(2) 草丈調節

アフリカン・マリーゴールドはわい化剤としてシーシーシー、エーレスト、ビーナインが効果が認められ、フレンチ・マリーゴールドはエーレスト、ビーナインが効果があり、草丈抑制が必要な時に散布処理する。ビーナイン散布処理濃度は0.25%（ビーナインの250倍、2回散布）が基本である。

5 主要病害虫とその防除対策

(1) 病 害

地下部の病害として株腐病、青枯病がある。またウイルスによるものとしてモザイク病が記録されている。

(2) 虫 害

ハダニ類の発生が多い。また、ナモグリバエ、アザミウマ類等も加害するが、他の害虫も含めて県内では不明な点が多い。

6 出荷

出荷は1～2輪開花時に行う。

フレンチ・マリーゴールド： 3～6月出荷 生育日数60～70日

アフリカン・マリーゴールド：4～6月出荷 生育日数80～90日

参考・引用文献

- 1) 浜田 豊、「農業技術大系花卉編 8 1・2年草」、農山漁村文化協会、(平成6年)
- 2) 鶴島久男、「花卉園芸ハンドブック (新編第5版)」、養賢堂、(平成6年)

マリーゴールド栽培ごよみ

月	旬	生育 状況	作 業	栽 培 の 要 点	摘 要						
1	上	播種 期	播 種 鉢 上 げ	<p>1. 作型</p> <table border="1" data-bbox="475 383 1203 479"> <thead> <tr> <th>播種期</th> <th>鉢上げ期</th> <th>開花・出荷期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月中旬～3月中旬</td> <td>2月中旬～3月下旬</td> <td>4月中旬～5月下旬</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 品種</p> <p>園芸品種は、高性のアフリカン・マリーゴールドと、草丈の低いフレンチ・マリーゴールドの2系統に分けられる。</p> <p>(1) アフリカン・マリーゴールド ‘ディスカバリー’ ‘レディ・パーフェクション’ 等</p> <p>(2) フレンチ・マリーゴールド ‘ボナンザ’ ‘サファリ’ ‘ボーイ’ ‘リトル’ 等</p> <p>3. 育苗、鉢上げ</p> <p>播種は、128穴～200穴のセル成形苗用トレイに1穴あたり1粒播きか、育苗箱に0.5～1cm間隔で播き、薄く覆土する。発芽適温の15～20℃を保つと3～4日で発芽する。</p> <p>本葉2～3枚になったら、3～3.5号のポリ鉢に鉢上げする。</p> <p>4. 出荷</p> <p>出荷は1～2輪開花時に行う。</p> <p>・フレンチ・マリーゴールド：3～6月出荷 生育日数 60～70日</p> <p>・アフリカン・マリーゴールド：4～6月出荷 生育日数 80～90日</p>	播種期	鉢上げ期	開花・出荷期	1月中旬～3月中旬	2月中旬～3月下旬	4月中旬～5月下旬	
	播種期				鉢上げ期	開花・出荷期					
	1月中旬～3月中旬				2月中旬～3月下旬	4月中旬～5月下旬					
中											
下											
2	上	鉢上 げ期									
	中										
3	上	開 花 出 荷									
	中										
4	上	開花 期									
	中										
5	上	開花 期									
	中										
6	上	開花 期									
	中										
7	上	開花 期									
	中										
8	上	開花 期									
	中										
9	上	開花 期									
	中										
10	上	開花 期									
	中										
11	上	開花 期									
	中										
12	上	開花 期									
	中										